

今夜7(じよ)

西成市民館(3階)

(西成署のう・燈台出(公園前))

毎週金曜日

違法ドヤでまたもや焼死!

金モウケ主義でない

公設の単身者住宅も釜につれ!

夜間学校ニユ

釜ヶ崎夜間学校

西成区菟之茶屋 2-5-23
解放会館2階

釜日労・争議団 気付

七千五百円は定着したけれど

交通費は、そして飯場は...

二月の末日に要求書を現金求人に来ていた手配師やん夫出に手渡し、三月に入って、オ一週は、現金の釜における取付金を七千五百円にする肉いがおこなわれた。

七千五百円は、あつけないと思えるぐらい、センターの中で定着した。

三日の日は、岡田組や新興が、向違えて、あまいは遠距離だから、なぞと

つて、七千五百円のフランクを出していきながら、七千円し直払っていきなかつた。ところがセンターの中で明らかになれ、岡田組は、手配師に言ったことをわび、五百円の差額を支払った。新選は翌日から七千五百円になった。

九割九分まで、七千五百円になった。我々の春期年報のオ一弾は勝利したのであるうか。

我々の要求は最低七千五百円であった。しかし、これは額面ではなく、手取りでの要求であった。センターからオケラで仕事に行つて、帰つてきた時に、七千五百円が半元に残つていふようにせよ、ということであった。

しかし、現在、六割近く業者が交通費を払つていない。

内田組の手配師は言う。五百円上げるのが精一杯や、交通費はかんぐんしてえぬ。元請も次の現場からやない。単価あげてくめんねんかでは、あつてもうけていふか。

というて、元請からは七千五百円から九千円もらつてあり、四十人程度出している、といつていた。

毎日八万円残さずやないか、というて、オヤジやワシの日当、それにガリリン代がいろいろという。

それにしても、交通費を出せば、オツかりもうけがなくなる、というこゝてではない。もうけは充分すぎるぐらゝあるはずだ。

交通費をも勝ちとらなれば、我々のくらゐは昨年より苦しくなることは目に見えている。

みんなで要求し、かちとろう。

そして、飯場における条件改善闘争にもとりくもう。

今日は、飯場に対する要求項目の検討、実現にあけての作戦をねらう。

勝利の成果を打ち固めて

☆仲間の強固な団結で春闘の才一段階に勝利！

「7500円以下をセンターから追放するぞ」のスローガンを掲げて3月1日早朝よりセンターで始まった84年春期斗争も、組合を先頭とした仲間達の闘いによって、勝利のうちにもその才一段階を終えようとしている。その結果、今ではセンターでの現金求人最低単価はほぼ7500円まであがっている。

悪質なクタクタ業者を完全にセンターから追放し、春闘に完全勝利するまでには、まだまだ仲間たちの奮闘が必要だが、初戦が一段落したところで、これ

までの闘いを振りかえって次の闘いに必要なことも必要だ。

☆勝利を確実なものにして、更に飯場斗争へ突き進もう！

先週の金曜日(3月2日)は、春期斗争才一段階の真口中で、たまや夜間学校は休校、参加者全員は釜日労・争議団よびかけの春闘集会に結集しました。この集会には40名以上の仲間が参加して活発な論議がくりひろげられた。組合の仲間よりまず斗争の中固報告がなされた。そこでは、斗争は勝利のうちに進行しているが、中にはまだわしらの要求を入りずに6500のスクラップというクタクタ単価で求人し

ていよう業者もいて、その追求が必要であるという提起がなされ、さらには、この現金求人業者に対する闘いが一段落したら、次は飯場求人業者に対する闘いを開始しよう、というアツピールがなされた。

更に前進しよう。

「今、わしらが見張っているから業者もおとなしく言うこと聞いているけど、ちよ、と目はなすとすぐいろいろとボツタクル。キョウチリと監視して、わしらの闘いの成果を中らなアカン。」

「絶対許せん。」「6500円で